



平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズ

コード番号 2792 URL <http://www.honeys.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江尻 義久

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 西名 孝 (TEL) 0246-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日~平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	15,192	5.4	782	4.7	720	△4.4	366	△7.0
25年5月期第1四半期	14,407	6.6	747	—	753	—	394	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 377百万円(△19.1%) 25年5月期第1四半期 467百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	13.15	—
25年5月期第1四半期	14.13	—

(注) 当第1四半期連結累計期間より、会計方針を一部変更しており、前年同期については各財務数値に対して遡及処理を行っております。これに伴い、25年5月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第1四半期	37,236	29,949	80.4	1,073.47
25年5月期	38,045	29,990	78.8	1,074.93

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 29,949百万円 25年5月期 29,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日~平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,600	8.5	2,450	4.4	2,450	3.6	1,260	△0.5	45.16
通期	68,000	9.8	5,400	14.6	5,400	3.2	2,860	4.5	102.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年5月期1Q	27,900,000株	25年5月期	27,900,000株
26年5月期1Q	72株	25年5月期	72株
26年5月期1Q	27,899,928株	25年5月期1Q	27,899,928株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融証券取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が緩やかに回復し、鉱工業生産も回復基調となりました。また、雇用環境も緩やかに改善し、賃金も持ち直し基調が見えるなど、個人消費は底堅く推移しました。

しかしながら、当社グループが属するレディースカジュアル専門店業界は、円安の継続に加え、7月の低温や8月の猛暑など、厳しさを増す気象環境に振り回され、回復スピードには力強さが見られませんでした。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、既存店の活性化に向け、商品企画の精度アップに注力するとともに、ファッション誌とのコラボレーション企画や自社オンラインショップとの共同販促企画、さらに店舗におけるベストプラクティスの共有など、販売力の強化に努めてまいりました。

店舗展開に関しましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当第1四半期連結会計期間末における国内店舗数は826店舗となりました。

中国子会社である好麗姿(上海)服飾商貿有限公司(注)におきましては、当第1四半期連結会計期間末における直営店舗数は558店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は151億92百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は7億82百万円(同4.7%増)、経常利益は7億20百万円(同4.4%減)、四半期純利益は3億66百万円(同7.0%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<日本>

日本における売上高は122億41百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は6億53百万円(同17.5%増)となりました。不安定な天候の影響を受けながらも、売上高、営業利益ともに前年を上回りました。

<中国>

中国における売上高は29億51百万円(前年同期比32.7%増)、営業利益は1億26百万円(同24.6%減)となりました。売上高は、新規出店効果により増加いたしました。出店にかかる費用が増加し、減益となりました。

<その他>

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマー現地法人の事業活動を含んでおります。当第1四半期連結累計期間における営業損失は36百万円(前年同期比29百万円増)となりました。

(注) 好麗姿(上海)服飾商貿有限公司の社名は中国語簡体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて8億08百万円減少して372億36百万円となりました。これは、たな卸資産が減少したこと等によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べて7億68百万円減少して72億86百万円となりました。これは、未払法人税等が減少したこと等によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べて40百万円減少して299億49百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益が減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成25年7月2日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社及び連結子会社の商品の評価方法は、従来、主として売価還元法によっておりましたが、新在庫管理システムが本稼動し、継続記録による商品の受払に基づく在庫単価の計算がシステム化されたことに伴い、より合理的な商品の評価及び適正な期間損益の計算が可能になったため、当第1四半期連結会計期間から、総平均法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前に比べて、前第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ130,391千円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は545,082千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,684,698	7,835,404
売掛金	3,592,483	3,735,349
たな卸資産	7,158,891	6,584,589
未収還付法人税等	975	2,526
その他	1,411,755	849,578
貸倒引当金	△1,541	△1,253
流動資産合計	19,847,262	19,006,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,529,782	6,522,592
その他	2,928,376	2,915,762
有形固定資産合計	9,458,158	9,438,355
無形固定資産		
その他	228,792	224,438
無形固定資産合計	228,792	224,438
投資その他の資産		
差入保証金	7,664,612	7,698,330
その他	877,478	895,247
貸倒引当金	△31,152	△26,330
投資その他の資産合計	8,510,939	8,567,248
固定資産合計	18,197,889	18,230,042
資産合計	38,045,152	37,236,237
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,690,212	1,444,393
短期借入金	150,400	79,850
1年内返済予定の長期借入金	660,000	574,800
未払法人税等	797,783	94,409
ポイント引当金	3,527	3,528
資産除去債務	9,870	17,115
その他	2,720,665	3,028,843
流動負債合計	6,032,458	5,242,940
固定負債		
退職給付引当金	1,213,116	1,243,153
資産除去債務	780,848	777,481
その他	28,250	22,693
固定負債合計	2,022,215	2,043,328
負債合計	8,054,673	7,286,269

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,941,880	3,941,880
利益剰余金	21,968,826	21,917,250
自己株式	△330	△330
株主資本合計	29,477,175	29,425,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,105	5,712
繰延ヘッジ損益	146,091	23,226
為替換算調整勘定	362,105	495,429
その他の包括利益累計額合計	513,302	524,368
純資産合計	29,990,478	29,949,968
負債純資産合計	38,045,152	37,236,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	14,407,918	15,192,666
売上原価	6,159,970	6,299,722
売上総利益	8,247,948	8,892,943
販売費及び一般管理費	7,500,689	8,110,623
営業利益	747,258	782,319
営業外収益		
受取利息	1,086	1,161
受取配当金	144	133
為替差益	—	79,637
受取地代家賃	11,226	8,580
受取補償金	—	13,960
補助金収入	—	43,230
貸倒引当金戻入額	1,578	5,109
雑収入	6,791	8,090
営業外収益合計	20,826	159,905
営業外費用		
支払利息	5,562	5,010
デリバティブ評価損	—	213,136
雑損失	8,806	3,236
営業外費用合計	14,368	221,384
経常利益	753,716	720,841
特別利益		
受取損害賠償金	54,574	—
補助金収入	—	33,790
特別利益合計	54,574	33,790
特別損失		
固定資産除却損	39,959	51,472
減損損失	31,948	24,614
その他	2,590	7,840
特別損失合計	74,498	83,928
税金等調整前四半期純利益	733,792	670,703
法人税、住民税及び事業税	211,323	104,118
法人税等調整額	128,048	199,661
法人税等合計	339,372	303,779
少数株主損益調整前四半期純利益	394,420	366,923
四半期純利益	394,420	366,923

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	394,420	366,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	416	606
繰延ヘッジ損益	167,679	△122,864
為替換算調整勘定	△95,514	133,323
その他の包括利益合計	72,581	11,065
四半期包括利益	467,002	377,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	467,002	377,988
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,183,640	2,224,278	14,407,918	—	14,407,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	4,800	4,800
計	12,183,640	2,224,278	14,407,918	4,800	14,412,718
セグメント利益	556,418	168,314	724,732	△6,391	718,341

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	724,732
「その他」の区分の利益	△6,391
セグメント間取引消去	28,917
四半期連結損益計算書の営業利益	747,258

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ22,621千円、9,326千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において31,948千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,241,281	2,951,384	15,192,666	—	15,192,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	43,473	43,473
計	12,241,281	2,951,384	15,192,666	43,473	15,236,140
セグメント利益	653,839	126,854	780,693	△36,217	744,476

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	780,693
「その他」の区分の利益	△36,217
セグメント間取引消去	37,843
四半期連結損益計算書の営業利益	782,319

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、商品の評価方法を売価還元法から総平均法に変更したことに伴い、事業セグメントの商品の評価方法を売価還元法から総平均法に変更しております。

当該変更は、新在庫管理システムが本稼動し、継続記録による商品の受払に基づく在庫単価の計算がシステム化されたことに伴い、より合理的な商品の評価及び適正な期間損益の計算が可能になったために行ったものであります。

なお、当該変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については遡及適用後のセグメント情報となっております。その結果、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失は、遡及適用を行う前と比較して、「日本」でセグメント利益が136,507千円増加、「中国」でセグメント利益が6,115千円減少しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ18,071千円、6,542千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において24,614千円であります。